

派遣報告書

平成25年 1月30日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員 大津 昌克



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1 派遣期間 平成25年 1月23日 (水) から平成25年 1月25日 (金) まで
- 2 派遣先 (1) 横須賀市 1/23(水) 14:30~16:00
(2) 秋田市 1/24(木) 14:10~15:40

- 3 視察(調査) 議員名 段塚 廣文、大津 昌克

- 4 面会者 (1) 横須賀市議会事務局議事課
課長 浦田 昭彦 氏
課長補佐 渡部 良次 氏
(2) 秋田市子ども未来部 子ども未来センター
所長 小松 裕一 氏
参事 梅 邑 初子 氏

- 5 派遣目的 (1) 横須賀市 「予算決算常任委員会について」
(2) 秋田市 「子ども未来センターについて」

- 6 視察の経過及び感想
別紙「会派くらよし 行政視察報告書」参照

- 7 添付書類 (1) 面会者名刺一覧
(2) 視察先提供資料 (別紙「行政視察報告書内に掲載」)

要した経費： 2 人合計 202,720 円

派遣報告書

平成25年 1月30日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 丸 田 克 孝



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1 派遣期間 平成25年 1月23日 (水) から平成25年 1月25日 (金) まで
- 2 派遣先 (1) 横須賀市 1/23(水) 14:30~16:00
(2) 秋田市 1/24(木) 14:10~15:40

- 3 視察 (調査) 議員名 丸田 克孝、渡邊 法子

- 4 面会者 (1) 横須賀市議会事務局議事課
課 長 浦 田 昭 彦 氏
課長補佐 渡 部 良 次 氏
(2) 秋田市子ども未来部 子ども未来センター
所 長 小 松 裕 一 氏
参 事 梅 邑 初 子 氏

- 5 派遣目的 (1) 横須賀市 「予算決算常任委員会について」
(2) 秋田市 「子ども未来センターについて」

- 6 視察の経過及び感想
別紙「会派くらよし 行政視察報告書」参照

- 7 添付書類 (1) 面会者名刺一覧
(2) 視察先提供資料 (別紙「行政視察報告書内に掲載」)

要した経費： 2 人合計 202,720 円

派遣報告書

平成25年 1月30日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 谷 本 修 一



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1 派遣期間 平成25年 1月23日 (水) から平成25年 1月23日 (水) まで

2 派遣先 (1) 横須賀市 1/23(水) 14:30~16:00

3 視察 (調査) 議員名 谷 本 修 一

4 面会者 (1) 横須賀市議会事務局議事課
課 長 浦 田 昭 彦 氏
課長補佐 渡 部 良 次 氏

5 派遣目的 (1) 横須賀市 「予算決算常任委員会について」

6 視察の経過及び感想
別紙「会派くらよし 行政視察報告書」参照

7 添付書類 (1) 面会者名刺一覧

(2) 視察先提供資料 (別紙「行政視察報告書内に掲載」)

要した経費： 1 人合計 45,660 円

会派くらし「行政視察報告書」

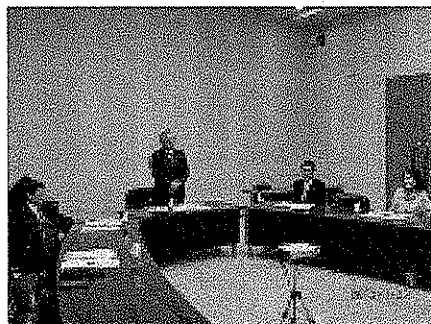
(視察・調査の経過及び感想)

日 時 平成 25/1/23(水)～25(金)
議 員 大津 昌克、段塚 廣文
丸田 克孝、渡邊 法子
谷本 修一(1/23のみ参加)

1. 視察・調査の経過及び感想について

(1) 横須賀市 1/23(水) 14:30～16:00 「予算決算常任委員会について」

横須賀市議会は、平成22年6月に「議会基本条例」を制定し議会改革に積極的に取り組んでいる先進地です。特に予算決算常任委員会による審査や議会IT化については注目するところです。このたびは予算決算常任委員会の調査が主でしたが、議会IT化についてもご説明いただくことができました。



まず予算決算常任委員会についてですが、従来の分割負託による審査方法は、各委員会での表決結果が異なる可能性がある等の矛盾が生じることから、これを解消するために設けられました。予算審査と決算審査を同一議員が行なうことで、総合的・一体的な審査を行なうことができます。事実、倉吉市でも各常任委員会に分割負託されているため、所管外の議員は議論に加わることができないのが現状です。さらに歳入については総務経済常任委員会のみが審査にあたり、多くの議員は審査に関与しません。

したがって、このような矛盾や弊害を解消するため導入されたのが予算決算常任委員会です。これは、議長を除くすべての議員が委員として参加していますが、横須賀市の場合には委員会の中に理事会を置き、さらにその中に分科会を置き審査にあたっていました。一見すると分割負託と相違ないようですが、各分科会で審査されたものは詳細審査のみで採決は行なわず、全体会に持ち込まれます。そして





その全体会で、分科会委員長報告、総括質疑を経て討論、採決となります。本会議では委員長報告を行い、質疑を行わないで採決となります。

この予算決算常任委員会設置の効果として、(1) 分割負託解消による円滑な議案審査、(2) 同一議員が予算決算審査を行なうことによるチェック機能の強化、(3) 議案採決を行う本会議

の開催時間減があげられます。その仕組みや運営のあり方については検討を要しますが、議会活性化としては取り組みたい事案です。

そして議会IT化についてですが、議会のインターネット中継はもちろんのこと、メールやウェブサイトの活用についてはかなり進んでいました。委員会等の開催通知や定例会資料等の配布、グループウェア掲示板の活用等、ITを駆使しペーパーレス化にも努めています。これを20～70代の議員全員が活用しています。ITは時代の流れでもあり避けては通れないものですから、さっそく倉吉市議会改革におきましても改革検討会で協議してみたいと思います。



(2) 秋田市 1/24(木) 15:00~16:30 「子ども未来センターについて」



秋田市には、秋田駅に直結した民間と公共の融合施設「秋田拠点センターアルヴェ」という複合ビルがあります。そこは民間棟と公共棟からなり、民間棟にはビジネスホテルや商業施設、公共棟には教育施設や市民交流施設、そして子育て支援施設などがあります。それらが行なうイベントでは、3千人を越える市民が集まるな

どたいへん活発です。そんな施設運営はどうなっているのか、実態を調査するため秋田市を訪れました。

前述のアルヴェという複合ビルの一角に「子ども未来センター」という就学前の子育て支援施設があります。近年の傾向である核家族化の進行や出生率の低下に伴う地域全体での子育て支援基盤の形成、また、子育てに対する保護者の不安解消や育児力の向上等、地域における子育て家庭に対する支援対策の推進が求められています。そのような社会状況に対応するため、この「子ども未来センター」で、相談業務や子育て支援事業を総



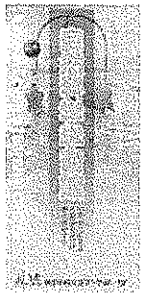
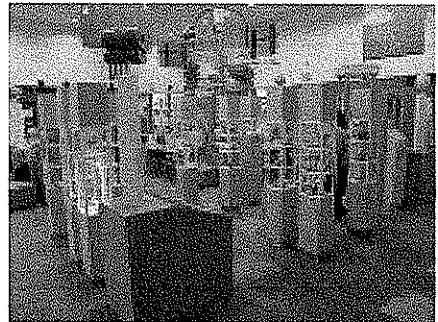


合的に行っています。

主な事業としては、(1) 児童および家庭の総合相談・女性相談、(2) 子育て情報の提供、(3) 地域の子育て支援、(4) 子育て支援者の育成支援・育児講座の開催、(5) 子育てボランティア育成支援、(6) 専門職員の派遣、(7) ファミリーサポートセンター運営事業、(8) 要保護児童対策地域協議会の設置・運営、(9) 地域子育て支援ネットワーク事業です。また遊び場として、子育て親子の交流の場として、子どもが自由に遊び、親同士が交流できるスペースがあります。センターの利用者は年間に5万人以上あり、そのほとんどがこの遊び場を利用しています。現場を拝見しましたが、ちょっとした遊園

地のようなものでした。設備もさることながら、民間のボランティア育成や講習会などのソフト事業も多数あり、まさに地域で子育て支援を行なっておられます。

また、このアルヴェという施設には教育委員会所管の「自然科学学習館」という社会教育施設もあり、サイエンスの分野を楽しく学べるようになっています。したがって、小学生と就学前児童の兄弟が同時に来館しても楽しめるようになっています。子どもから大人まで幅広く活用でき、市民の交流の場として多くの人に利用されている素晴らしい施設でした。



2. 視察・調査を終えて

横須賀市議会の議会改革を学び、時代が変わり行政も変わる中、まちを良くするためまず変わらなければいけないのは議会であると強く感じました。新しいことを導入するには大きな力が要ります。多くの場合は前例踏襲の方がリスクは少ないし楽かもしれません。

しかしながら、スクラップ&ビルドで創造的破壊と新事業創造を繰り返さなければ、成長と活性化はありません。常に今を見直し、未来を創造することが必要です。現状に甘んずることなくまずは自己改革に努めなければならないのです。議会が変われば行政も変わるしまちも変わります。

特に政治倫理や議会IT化は、議員自身を律し住民の負託に応えるための重要な改革です。私たち党派くらは、常に地方自治政策を研究し、倉吉市議会の改革に向けて努力することを確認しました。

秋田市では子育て支援施策について学びました。素晴らしい取り組みです。行政のみならず市民との協働で行われている事業です。また、民間ボランティアの人材育成についても積極的に取り組まれています。まさに人に対する政策であり見習うべき点は多いです。

私は、まちづくりにおける最重要課題は人を育てることだと思います。なぜならば、私たちは現在のまちづくりだけをしているのではないからです。次世代を見据えた100年後のまちづくりを考えなければいけないのです。

そのためには子ども達の明るい未来を作らなければいけません。少子化、核家族化、人口減少等の課題解決に向けて、子育て支援や教育は不可欠です。それらはすぐに結果は出ませんが、必ず芽が出ると信じています。

倉吉市も人口減は悩ましい問題です。若者定住を重要施策に掲げながら、児童・生徒は減少することを想定し学校統廃合や公立保育園の廃園を打ち出すなどの矛盾もあります。しかしながら人口増をあきらめてはいけません。子ども達が将来、倉吉で夢を実現できるよう子育てや教育に力を注ぎたいと考えます。

今後も精力的に調査活動を行い、その成果をしっかりと還元できるよう議員活動を行いたいと思います。終わりにあたり、このたびお世話になりました横須賀市、秋田市のみなさまに感謝を申し上げ、視察のレポートといたします。

